

大型クラゲの出現状況(国際フェリー調査結果等)について-第2報-

1. 大型クラゲの出現情報

(1) 対馬海峡における国際フェリー(博多-釜山航路)による目視調査結果^{※1}

① 実施期間 令和6年7月17日

結果 対馬海峡東水道で23個体(傘径20~80cm)、西水道で1,391個体(傘径20~80cm)を目撃した。東水道における出現量(平均密度)0.0010個体/100m²。西水道における出現量(平均密度)0.175個体/100m²。

昨年同時期の結果(対馬海峡で目撃されなかった)より大幅に増加した。
1,000個体を超える目撃は平成21年(2009年)以来。

※1. 国立研究開発法人水産研究・教育機構が実施。

(2) 日本沿岸水域における出現の確認^{※2}

- ・令和6年6月24日に長崎県対馬市峰町津柳(500個体、傘径30~60cm)、豊玉町志多浦(2,000個体、傘径10~30cm)、同町廻(20個体、傘径10~30cm)、巖原町豆敷(30個体、傘径10~30cm)、上対馬町西泊(1個体、傘径20cm)で出現を確認した:対馬の定置網で今年初めての出現。
- ・令和6年7月8日に山口県長門市通定置網(7個体、傘径30~50cm)、萩市江崎定置網(6~10個体、傘径30~50cm)で出現を確認した:本州の定置網で今年初めての出現。
- ・令和6年7月10日に島根県隠岐の島町西郷地区定置網(10個体、傘径50~60cm)、五箇地区定置網(200個体、傘径50~60cm)で出現を確認した:隠岐諸島の定置網で今年初めての出現
- ・令和6年7月17日に京都府伊根町新井定置網(10個体、傘径50cm前後)、浦入定置網(1個体、傘径50cm前後)で出現を確認した:丹後半島の定置網で今年初めての出現

※2. NPO 法人水産業・漁村活性化推進機構の委託を受けて、一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた情報による。

過去に対馬の定置網で確認された日

| | | |
|-------------|-----------------------|-------------------------------|
| 平成21年 6月30日 | } 日本沿岸水域で大型クラゲが大量出現した | |
| 平成22年 9月17日 | | |
| 平成23年 9月29日 | | |
| 平成24年 7月24日 | | |
| 平成25年 7月26日 | | |
| 平成26年 8月 6日 | | |
| 平成27年 9月15日 | | } 日本沿岸水域で大型クラゲの大量出現が なかった年 |
| 平成28年 6月28日 | | |
| 平成29年 7月 5日 | | |
| 平成30年 6月12日 | | |
| 令和 元年 6月13日 | | |
| 令和 2年 6月16日 | | |
| 令和 3年 6月15日 | | |
| 令和 4年 7月12日 | | |
| 令和 5年 8月21日 | | |

2. 今後の調査計画等

対馬海峡（博多～釜山間）のフェリー目視調査は、6月中旬から調査を開始し、7月上旬に2000個体を超える大量の大型クラゲを確認しました。7月中旬の調査では前回より確認数はやや減少しましたが、引き続き韓国寄りの西水道を中心に大量の大型クラゲを確認しました。また、日本沿岸では、7月上旬に山口県で本州沿岸として初確認されたのち、東方に分布域を拡大しています。一方、韓国の出現状況は、7月上旬以降急激に増加し、韓国沿岸に大量に大型クラゲが出現した2020年、2021年と同程度の高い出現が確認されています。以上のことから、6月下旬、7月上旬には対馬海峡両水道から大量の大型クラゲが日本海に流入し、7月中旬においても西水道を中心に流入が継続しており、一部が日本沿岸を対馬暖流沿岸分枝流に運ばれて東方に移動しているものと考えられます。対馬での目撃情報を基に最新の海況情報を用いて日本海における移動予測計算を行った結果では、東水道及び西水道から流入した大型クラゲの一部は日本沿岸に沿って北東に移動し、8月上旬に能登半島に達すると考えられます。また、能登半島沖以東では多くの大型クラゲは日本海の沖合域を北上し、9月上旬に津軽海峡へ達すると考えられます。

今後も、日本海への大型クラゲの流入量の変動把握と、日本海に入った大型クラゲの動向に注視し、引き続き日本周辺海域における大型クラゲの出現状況のモニタリング^{※3}、出現状況に関する情報提供^{※4}を行ってまいります。

※3. 主な大型クラゲ出現状況調査の実施予定（7月下旬～9月中旬）

（調査船による分布調査）

令和6年7月下旬：東シナ海大型クラゲ分布調査

令和6年9月上中旬：日本海中部海域大型クラゲ分布調査

(国際フェリーによる目視調査)

令和6年7月下旬：博多－釜山間の国際フェリーによる目視調査

令和6年8月中旬：博多－釜山間の国際フェリーによる目視調査

令和6年9月上旬：博多－釜山間の国際フェリーによる目視調査

令和6年9月中旬：博多－釜山間の国際フェリーによる目視調査

令和6年9月中旬：舞鶴－小樽間の国内フェリーによる目視調査

※4. 大型クラゲ出現状況調査の結果については、以下でお知らせしております。

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

大型クラゲ関連情報 URL：

https://www.fra.go.jp/shigen/marine_environment/kurage/kurage.html

本件照会先（担当者）：

本部 研究戦略部 清水・帰山 TEL 045-277-0257

水産資源研究所 水産資源研究センター 海洋環境部 渡邊 TEL 025-228-0587